

菅は打倒された。自公政権を衆議院選挙で打倒しよう!

～対案は民主主義的社会主義～

民主主義的社会主義運動・Movement for Democratic Socialism

9月MDS集会

◆9月26日(日)14:00~16:30

◆**寝屋川市民会館講義室 (3階)** [参加協力費] 500円



▶8月14日「東アジアの平和のための日韓市民共同行動」が、ZENKOなどにより全国各地で取り組まれた。

- コロナ感染症対策のため、参加をご希望の方は事前にご連絡ください。発熱・咳など体調のすぐれない方はご遠慮ください。
- 当日の検温、手指消毒、マスク着用等感染症対策にご協力ください。

▶基調講演

『衆議院選挙で菅・自公政権を倒そう』

中村真記子(MDS河内地区委員長)

▶医療講演(予定・調整中)

『コロナワクチンをどう考えるか。』

科学的根拠に基づく積極的施策を(仮題)』

医療問題研究会・医師

▶発言・グループ討議など

- 菅は9月3日、自民党総裁選に立候補しないと発表しました。菅内閣はオリンピック、パラリンピックを強行し、医療崩壊を招いたことに対する市民の批判の中で打倒されたのです。菅政権はコロナ感染急拡大に対し、何の対策もうちませんでした。感染者の自宅療養者(放置者)は激増し、まったく治療を受けられず放置される医療崩壊が起きています。この理由は明白です。菅首相、小池都知事、吉村大阪府知事が病院、病床を増やしてこなかったからです。厚労省は一貫して公立病院を減らそうとしています。また臨時病床を直ちに必要数を作るといふこともしません。「ワクチンを打て」というだけです。そのワクチンも政府方針通り供給されず混乱を招いています。
- 今必要なことは、誰でも無償で受けられるPCR検査を拡げ、陽性者を隔離し医療の下に保護すること、発症者をすべて入院できるようにすることです。そのために必要な財政をすべて投入すべきです。しかし菅、自公政権の新自由主義路線は医療費を削減し、グローバル資本向けの財政支出(沖縄辺野古新基地建設などの軍事費増額、デジタル化、リニア、カジノ、万博)を最優先しています。
- 市民の命と暮らしを破壊する自公政権を打倒しましょう!菅の政策は菅個人のものではなく、自公政権がこれまで新自由主義路線として実行してきたものです。菅が辞めるだけではなく、自公政権そのものを打倒しなければなりません。自公の補完者である維新、小池も打倒しなければなりません。
- 10月に予定されている衆議院選挙で、自公維新を市民と野党の共闘で叩き落としましょう。沖縄辺野古新基地建設に対して、DSA(アメリカ民主主義的社会主義者)と連帯し、ZHAP(ZENKO辺野古プロジェクト)を進めていきましょう。韓国の平和運動と連帯し、朝鮮半島終戦キャンペーンを進めアジアにおける軍拡を阻止しましょう。
- みなさん、MDS集会にご参加ください。これらの闘い・運動の中で民主主義社会主義に前進しましょう。

主催:MDS(民主主義的社会主義運動)河内地区委員会

<http://www.mdsweb.jp>

連絡先:寝屋川市早子町20-12 TEL:090-3927-6382

e-mail:info@mdsweb.jp